

インドネシア公共事業省道路橋梁研究所と研究連携ロードマップを追加確定

昨年10月のバリ国際会議で特定された研究プロジェクトについて、インドネシア公共事業省道路橋梁研究所（IRE）と研究連携ロードマップを確定するための調整会合を5月31日～6月3日にインドネシア・シュラワシで行いました。

発表及び討論の後、双方は Asbuton プロジェクトなどの研究連携ロードマップ（詳細は参考を参照）を合意しました。本ロードマップは、バリ国際会議における共同宣言を受けて本年1月に既に特定されている他の研究連携ロードマップ（道路環境、交通量計測など）に加えて合意されたものです。

本会合において双方は、インドネシアの公共事業において環境負荷低減のため現地の天然素材を用いることの重要性を確認しました。また、本研究の成果として、Asbuton を道路基礎構造材として有効に活用する方策をまとめ、これが将来の道路ネットワーク整備やインフラの改善をより低コストで実現することに貢献することが期待されることを確認しました。

さらに、この機会を活用して道路交通安全のための研究連携ロードマップ（詳細は参考を参照）も合意しました。このプロジェクトは国土技術政策総合研究所の支援のもとインドネシアで活動している JICA の専門家により進められることとなります。



注：IRE（RDCRB）Institute of Road Engineering(Research and Development Center of Road and Bridge), Agency of Research Department, Ministry of Public Works in Indonesia

（国際研究推進室）

(参考)

研究ロードマップ

「環境負荷低減に資する Asbuton (インドネシアの天然アスファルト素材) 研究プロジェクト」

1) 計画期間 2011～2013

2) 目標

2011 : Asbuton の組成調査

2012 : Asbuton の舗装材活用に対する評価

2013 : Asbuton 活用のための基準原案作成

※インドネシア側は、Asbuton センターを設置する意向あり

研究ロードマップ

「交通事故集中箇所対策研究プロジェクト」

1) 計画期間 2011～2013

2) 目標

2011 : サンプルエリアにおける交通量及び交通事故データの収集

2012 : サンプルエリアにおける交通事故対策の試行

2013 : 交通事故対策の評価とガイドラインの作成

注：上記の活動は、双方の研究所の予算の制約のもとで行われるものである。これは国際約束ではないが、双方は、目標の達成のため最善を尽くすものとする。